



進路だより

福島県立いわき支援学校
進路指導部
第8号
令和5年2月27日発行

✎ 小学部進路学習

- 中学部での作業体験学習 -

12月上旬、小学部6年生は、中学部の作業学習に参加し3日間の体験活動を行いました。初めは、どの児童も緊張した表情を浮かべていましたが、事前に作業学習の様子を見学したり、学年で作業班から借用した教材を使用して体験したりしたこともあり、すぐに環境に慣れて真剣に取り組む姿が見られました。

児童達は、中学部での作業体験を通し、「難しい」という言葉の意味を実体験から学ぶことができました。また、中学部への進学について考えたり、周りの人と協力しながら最後まで仕事を頑張ることの大切さを感じたりすることができました。

< 中学部作業学習体験を行う6年生 >



・作業学習前の始めの会（仕事の確認）と作業学習体験の様子

- 集団での活動 - ~みんなで〇〇しよう!~

小学部6年生は、友達と一緒に学習したり活動したりする場を多く設定してきました。集団で学習したり活動したりするためには、友達との適切な関わり方を知り協力することなど、自立と社会参加に向けた力が必要となります。それらの力を育成するために、段階的・発展的に集団で学習や活動を積み重ねていくことで、困っている友達に「大丈夫。」とやさしく声を掛けたり、友達のペースに合わせて行動することができるようになったりするなど、学んできたことの積み重ねが、子ども達の成長した姿となって表れてきています。



高等部産業現場等における実習

2学年生徒は11月21日から12月2日までの9日間、1学年生徒は1月16日から1月20日までの5日間の日程で後期産業現場等における実習が行われました。1学年生徒は高等部に入学してからはじめての現場実習でした。実習を通しての生徒たちの声です。

2学年

ぼくは、工房阿列布で実習をしました。午前中は、ボタンを3つずつ袋に入れる作業をしたり、音楽に合わせて体操をしたりしました。午後は、外を散歩したり、バランスボールで遊んだり、DVD鑑賞をしたり、余暇の時間として、自分のやりたいことをして過ごしました。職員の方が一緒にボールで遊んでくれてとてもうれしかったです。みなさんがたくさん声をかけてくれたので、すぐに慣れて、笑顔で楽しく2週間過ごすことができました。

2年 男子

私は、後期産業現場等における実習でマルト岡小名店に行きました。仕事内容は、主に果物の袋詰めでした。仕事をしてみて、同じ場所でじっと立ち続けて仕事をする大変さを感じました。そのため、進路を考える際に体を動かしながら行う仕事を選択していきたいと考えています。私にとって、難しい仕事ではありましたが休むことなく勤務できた事は、とても自信になりました。社会人になるまであと1年です。一般就労を目指して頑張っていきたいと思います。

2年 女子

1学年

私の実習先は、杜のどーなつです。仕事内容は、1階と2階で分かれています。1階は、清掃とシール貼りですが、お客様が来るので清掃を先にやります。2階は、ドーナツの袋詰めと洗い物です。ドーナツの袋詰めは、クリームつきの物は、袋にくっつけないようにフィルムをつけて袋に入れます。感想は、ドーナツの袋詰めが大変でしたが、集中して仕事を進めることができました。ドーナツを食べてくれるお客様の気持ちを学びました。

2年 女子

私の実習先は、マルト岡小名店です。勤務時間は9時から15時で、仕事内容は前出しと品出しでした。今回の実習を通して学んだことは、一般企業の厳しさとやりがいです。覚える内容が多かったり、いろいろなことをたくさん聞かれたりして、周りの人との協力が大切だと改めて分かりました。今回の実習で、人と話すことで教えてもらえたり、逆に人に教えることでコミュニケーションの幅が広がったりするので、人と話すことは楽しいことだと感じました。

2年 男子



高等部2学年は自分の課題を改善し進路選択に役立てる実習、1学年は働く経験を通して自分の得意や不得意に気付く実習となるのが、目標となります。

現場実習は、各事業所や各企業のご協力のもと実施することができております。生徒たちの進路実現のため、保護者の方々もご協力よろしくお願いいたします。